



## 2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社はるやまホールディングス  
コード番号 7416 URL <https://www.haruyama.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 治山 正史

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 二宮 康高

TEL 086-226-7101

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	22,090	2.3	2,125		1,839		2,393	
2025年3月期第3四半期	22,619	0.7	947		690		978	

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,285百万円 ( %) 2025年3月期第3四半期 960百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	151.48	
2025年3月期第3四半期	59.87	

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	41,917	21,317	50.9
2025年3月期	43,449	24,165	55.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 21,317百万円 2025年3月期 24,165百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		20.00	20.00
2026年3月期		0.00			
2026年3月期(予想)				15.50	15.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	3.8	630	0.7	1,000	3.7	500	25.4	31.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	16,485,078 株	2025年3月期	16,485,078 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	805,024 株	2025年3月期	474,424 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	15,797,355 株	2025年3月期3Q	16,337,674 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結損益計算書に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、継続する物価上昇に加え、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。衣料品小売業界におきましては、生活必需品の価格上昇が個人消費の拡大を妨げており、依然として厳しい経営環境のまま推移しました。

このような環境の下、当社グループにおきましては「おしゃれで健康な生活を提供し、サポートするファッション・インフラ企業」というミッションを体現するため、機能性オフィスカジュアル商品やレディース向け商品の拡充に注力いたしました。こういった既存事業の強化に加えて、当社グループオリジナルの疲労回復ウェア「YOKUNERU」の発売や、リカバリーウェアを中心とした商品を展開する店舗「DRUG WEAR」をオープンするなど、新たなチャレンジも意欲的に続けてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間におけるお客様一人あたりの購買単価は既存店前年同四半期比108.2%と好調に推移しました。一方で、個人消費は引き続き停滞しており既存店客数は前年同四半期比89.6%となったこと、物価高騰の影響による商品原価の上昇が継続していることなどから、売上総利益は130億9千3百万円（前年同四半期比4.0%減）となりました。

また、営業利益面では、ビジネスウェア市場での認知度向上と新たな顧客層の開拓など、当社グループ事業の将来に向けた基盤整備を目的として、マルチチャネルを活用した統合的なマーケティング施策を実施いたしました。さらに、店舗運営の効率化を目的として出退店や店舗改装にも着実に取り組んでおります。このように、収益性の向上や将来に向けた成長戦略の実現を目指し、戦略的な投資を行った結果、販売費及び一般管理費が6億3千1百万円増加し、営業損失は21億2千5百万円（前年同四半期は営業損失9億4千7百万円）となりました。

店舗数に関しましては、グループ全体で13店舗新規出店及び17店舗閉店（うち5店舗移転）した結果、当第3四半期連結会計期間末の総店舗数は366店舗となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高220億9千万円（前年同四半期比2.3%減）となりました。利益面は、営業損失21億2千5百万円（前年同四半期は営業損失9億4千7百万円）、経常損失18億3千9百万円（前年同四半期は経常損失6億9千万円）の結果となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は、主に法人税等調整額の計上が2億7千7百万円あったことにより、23億9千3百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失9億7千8百万円）の結果となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、主に現金及び預金が41億5千1百万円減少したこと等により、流動資産が19億3千4百万円減少いたしました。一方で、固定資産が4億1百万円増加した結果、総資産は前連結会計年度末に比べて15億3千2百万円減少し、419億1千7百万円となりました。

負債につきましては、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が1億6千5百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が8億7千9百万円増加したこと、短期借入金が11億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて13億1千6百万円増加し、206億円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失が23億9千3百万円あったことに加え、3億2千万円の期末配当を実施したこと等により、213億1千7百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点におきまして2025年5月15日に発表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当社グループは事業の性質上、最終四半期連結会計期間（1月～3月）の売上高が他の四半期連結会計期間に比べて多くなる傾向にあります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,551,126	6,399,153
受取手形及び売掛金	355,769	506,991
商品	8,805,123	11,719,595
貯蔵品	26,651	27,569
その他	3,768,412	2,919,557
貸倒引当金	△3,695	△3,612
流動資産合計	23,503,388	21,569,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,979,548	2,157,377
土地	9,773,672	9,773,672
その他(純額)	263,444	498,341
有形固定資産合計	12,016,666	12,429,391
無形固定資産		
その他	923,084	1,145,591
無形固定資産合計	923,084	1,145,591
投資その他の資産		
差入保証金	5,348,742	5,312,060
その他	1,689,568	1,493,953
貸倒引当金	△31,899	△33,016
投資その他の資産合計	7,006,412	6,772,997
固定資産合計	19,946,163	20,347,981
資産合計	43,449,551	41,917,236
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,901,306	4,780,498
短期借入金	2,500,000	3,600,000
1年内返済予定の長期借入金	2,954,674	2,631,951
未払法人税等	66,740	37,919
ポイント引当金	31,864	41,545
契約負債	369,646	353,008
賞与引当金	53,040	15,195
店舗閉鎖損失引当金	6,001	4,926
資産除去債務	123,207	30,561
その他	2,539,276	2,111,770
流動負債合計	12,545,757	13,607,377
固定負債		
長期借入金	3,310,357	3,468,061
退職給付に係る負債	1,395,413	1,378,068
資産除去債務	1,500,591	1,558,162
その他	531,438	588,336
固定負債合計	6,737,801	6,992,628
負債合計	19,283,558	20,600,005

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,991,368	3,991,368
資本剰余金	3,862,125	3,862,125
利益剰余金	16,593,543	13,880,301
自己株式	△350,670	△593,893
株主資本合計	24,096,366	21,139,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,643	176,818
繰延ヘッジ損益	△17	510
その他の包括利益累計額合計	69,626	177,329
純資産合計	24,165,992	21,317,230
負債純資産合計	43,449,551	41,917,236

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	※1 22,619,557	※1 22,090,575
売上原価	8,979,545	8,997,473
売上総利益	13,640,012	13,093,101
販売費及び一般管理費	14,587,892	15,219,001
営業損失(△)	△947,880	△2,125,899
営業外収益		
受取利息	4,527	9,745
受取配当金	11,295	13,378
受取地代家賃	429,304	496,288
その他	23,650	34,449
営業外収益合計	468,777	553,861
営業外費用		
支払利息	26,534	41,736
賃貸費用	171,219	204,180
その他	13,797	21,166
営業外費用合計	211,551	267,082
経常損失(△)	△690,654	△1,839,120
特別利益		
固定資産売却益	257,147	5,000
受取保険金	—	12,760
特別利益合計	257,147	17,760
特別損失		
固定資産除売却損	95,793	110,142
減損損失	39,451	41,376
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	4,926
本社移転費用	※2 12,185	—
システム障害対応費用	—	※3 43,186
特別損失合計	147,430	199,631
税金等調整前四半期純損失(△)	△580,938	△2,020,991
法人税、住民税及び事業税	103,060	94,461
法人税等調整額	294,093	277,575
法人税等合計	397,153	372,037
四半期純損失(△)	△978,092	△2,393,028
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△978,092	△2,393,028

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失(△)	△978,092	△2,393,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,690	107,175
繰延ヘッジ損益	68	527
その他の包括利益合計	17,758	107,703
四半期包括利益	△960,334	△2,285,325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△960,334	△2,285,325



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年11月14日開催の臨時取締役会決議に基づき、自己株式330,500株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2億4千3百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が5億9千3百万円となっております。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※1. 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

当社グループは事業の性質上、最終四半期連結会計期間（1月～3月）の売上高が他の四半期連結会計期間に比べて多くなる傾向にあります。

※2. 本社移転費用の内訳

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
廃棄物処理費用	8,612千円	—千円
運搬費用等	3,572	—
計	12,185	—

※3. システム障害対応費用

特別損失に計上したシステム障害対応費用の内容は、主に外部専門機関に対する調査費用やシステム復旧作業等に係る費用であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	454,634千円	491,212千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

当社グループにおける報告セグメントは衣料品販売事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。